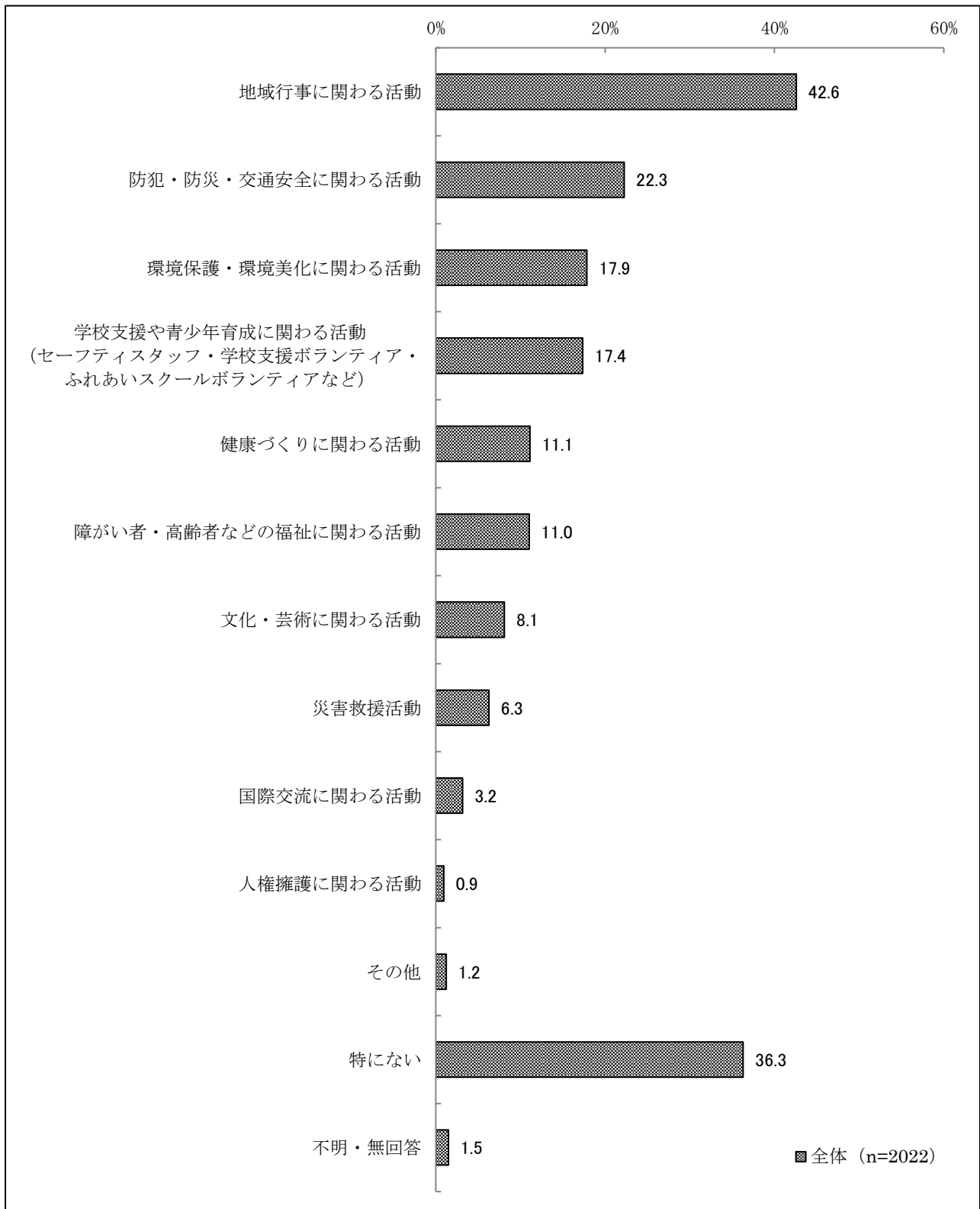


4. 社会活動への関わりについて

(1) 参加したことがある社会活動

問14 次の中で、あなたがこれまでに参加したことがある社会活動はありますか。

(○はいくつでも)



— 「地域行事に関わる活動」が4割以上 —

【全体結果】

「地域行事に関わる活動」(42.6%)が4割を超え、割合が最も高い。次に続く「防犯・防災・交通安全に関わる活動」(22.3%)の倍近くの割合で、突出している。「環境保護・環境美化に関わる活動」(17.9%)、「学校支援や青少年育成に関わる活動(セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど)」(17.4%)で、2割弱となった。

「特にない」(36.3%)は、3割半ばとなった。

【属性別結果】(図4-1参照)

① 地区別

「地域行事に関わる活動」は、全ての区で割合が最も高い。南区(64.2%)で最も高く、唯一6割を超えた。「防犯・防災・交通安全に関わる活動」も南区(35.8%)で最も高く、唯一3割を超えた。「環境保護・環境美化に関わる活動」は、西蒲区(24.5%)で最も高い。「特にない」は東区(40.7%)、中央区(40.0%)で高い。

② 性別

「地域社会に関わる活動」(男性46.8%、女性39.7%)、「防犯・防災・交通安全に関わる活動」(男性27.1%、女性18.6%)、「環境保護・環境美化に関わる活動」(男性24.1%、女性13.4%)は、女性と比較して、男性で割合が高く、差がみられた。

③ 年齢別

「特にない」は、18～29歳(52.1%)、30～39歳(50.0%)で割合が高く5割以上となった。18～29歳、30～39歳は、「特にない」を除く各項目の割合が、他の年代と比較して低い傾向にある。

図 4-1 参加したことがある社会活動（地区別/性別/年齢別） 1/2

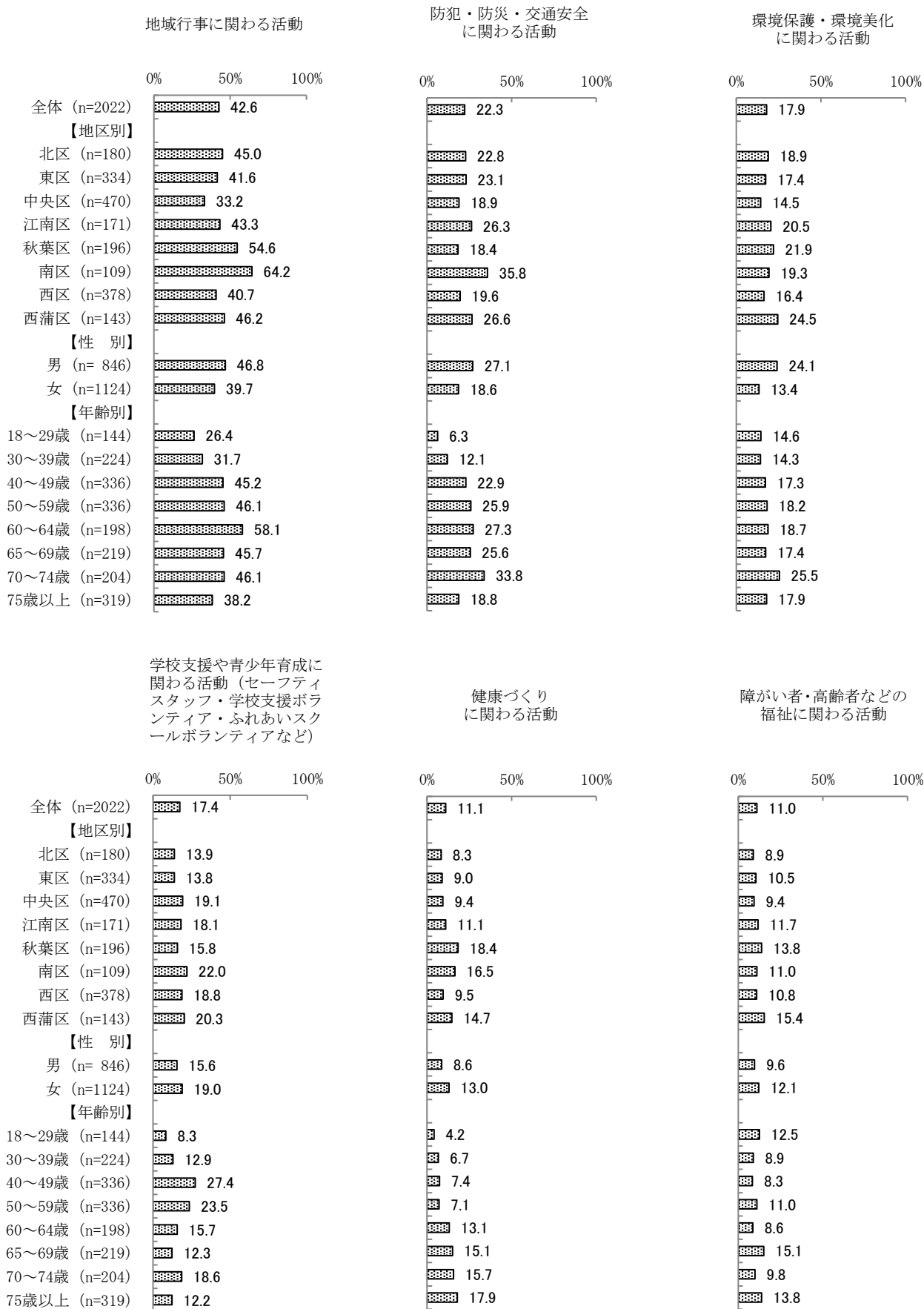
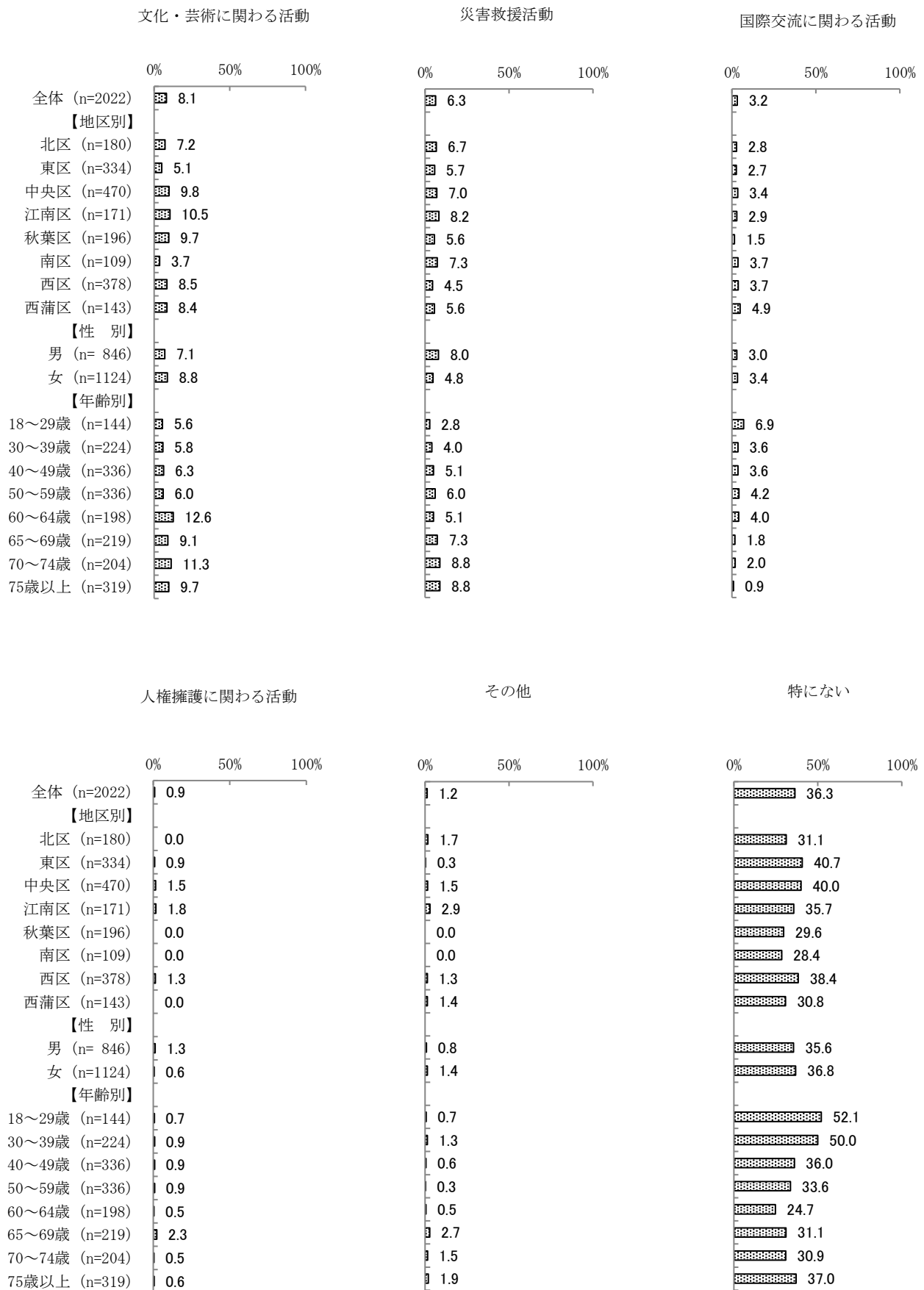


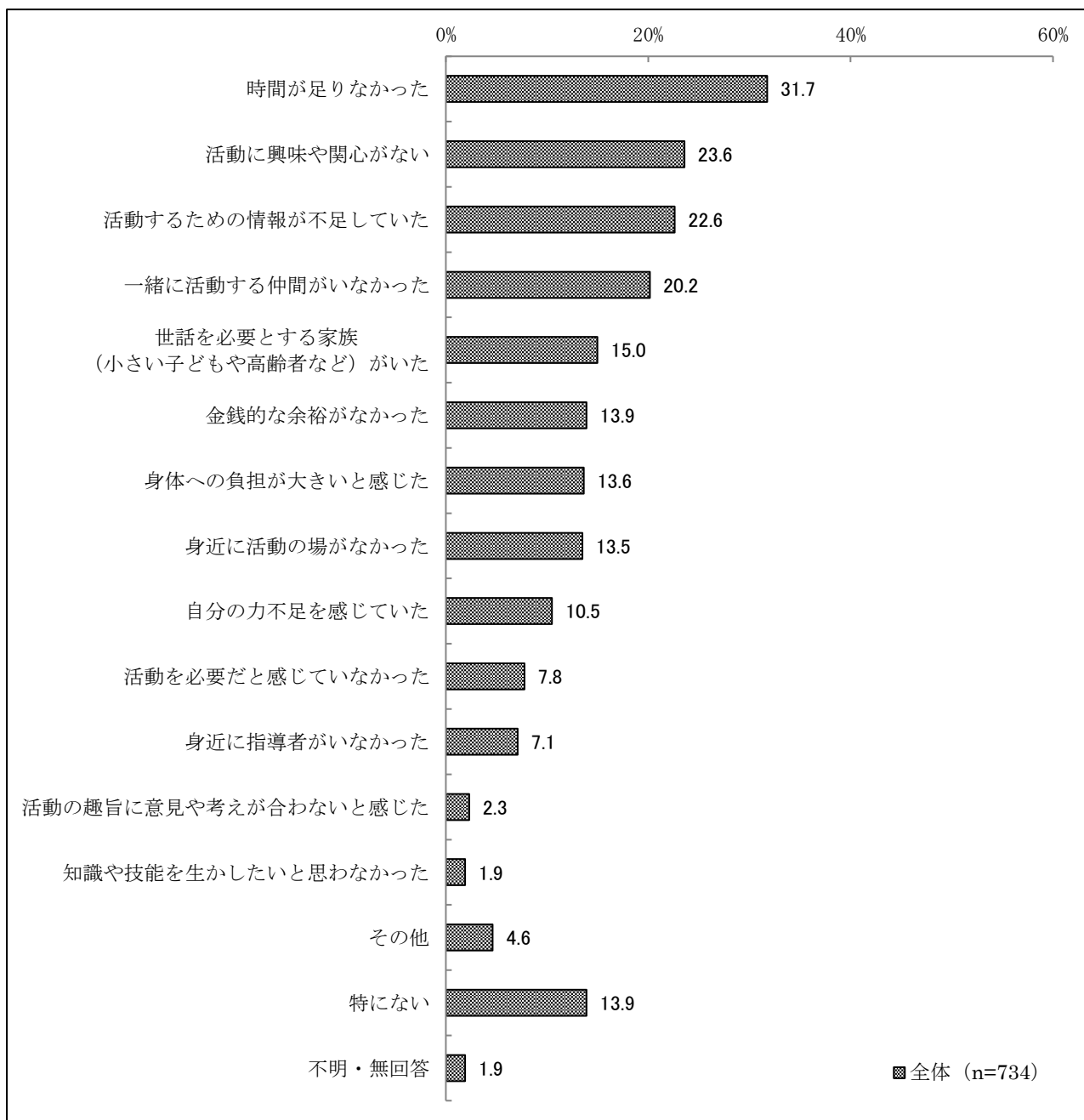
図 4-1 参加したことがある社会活動（地区別/性別/年齢別） 2/2



(2) 参加しなかった、できなかった理由

(問14で「12」(特にない)と答えた方のみ)

問15 参加しなかった、できなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)



— 「時間が足りなかった」が3割以上 —

【全体結果】

「時間が足りなかった」(31.7%)が3割を超え、割合が最も高い。次いで「活動に興味や関心がない」(23.6%)、「活動するための情報が不足していた」(22.6%)、「一緒に活動する仲間がいなかった」(20.2%)、「世話を必要とする家族(小さい子どもや高齢者など)がいた」(15.0%)の順に続く。

「特にない」(13.9%)も1割を超えた。

【属性別結果】（図 4-2 参照）

① 地区別

東区、南区、西蒲区を除く区で、「時間が足りなかった」の割合が最も高く、秋葉区（39.7%）の割合が最も高い。

東区は、「活動に興味や関心がない」（27.2%）が、「時間が足りなかった」（26.5%）よりも高く、割合が最も高い結果となった。

南区は、「一緒に活動する仲間がいなかった」（38.7%）の割合が最も高く、他の区と比べても高い。また、「自分の力不足を感じていた」（25.8%）の割合も他の区と比べて高い。

西蒲区は、「時間が足りなかった」「活動に興味や関心がない」（各 27.3%）の割合が最も高い。

西区は、「活動するための情報が不足していた」（30.3%）、「身近に活動の場がなかった」（20.0%）が、他の区と比べて高い。

② 性別

「活動に興味や関心がない」（男性 27.9%、女性 20.8%）、「特にない」（男性 17.9%、女性 10.9%）は、女性と比較して、男性で割合が高く、「世話を必要とする家族（小さい子どもや高齢者など）がいた」（男性 8.3%、女性 20.3%）、「身体への負担が大きいと感じた」（男性 10.3%、女性 16.4%）は、男性と比較して、女性で割合が高く、差がみられた。

③ 年齢別

「特にない」は、60～64 歳（8.2%）で割合が低く、唯一 1 割未満となった。

「身体への負担が大きいと感じた」は、年齢が高いほど割合が高くなる傾向が見られる。

図 4-2 参加しなかった、できなかった理由（地区別/性別/年齢別） 1/3

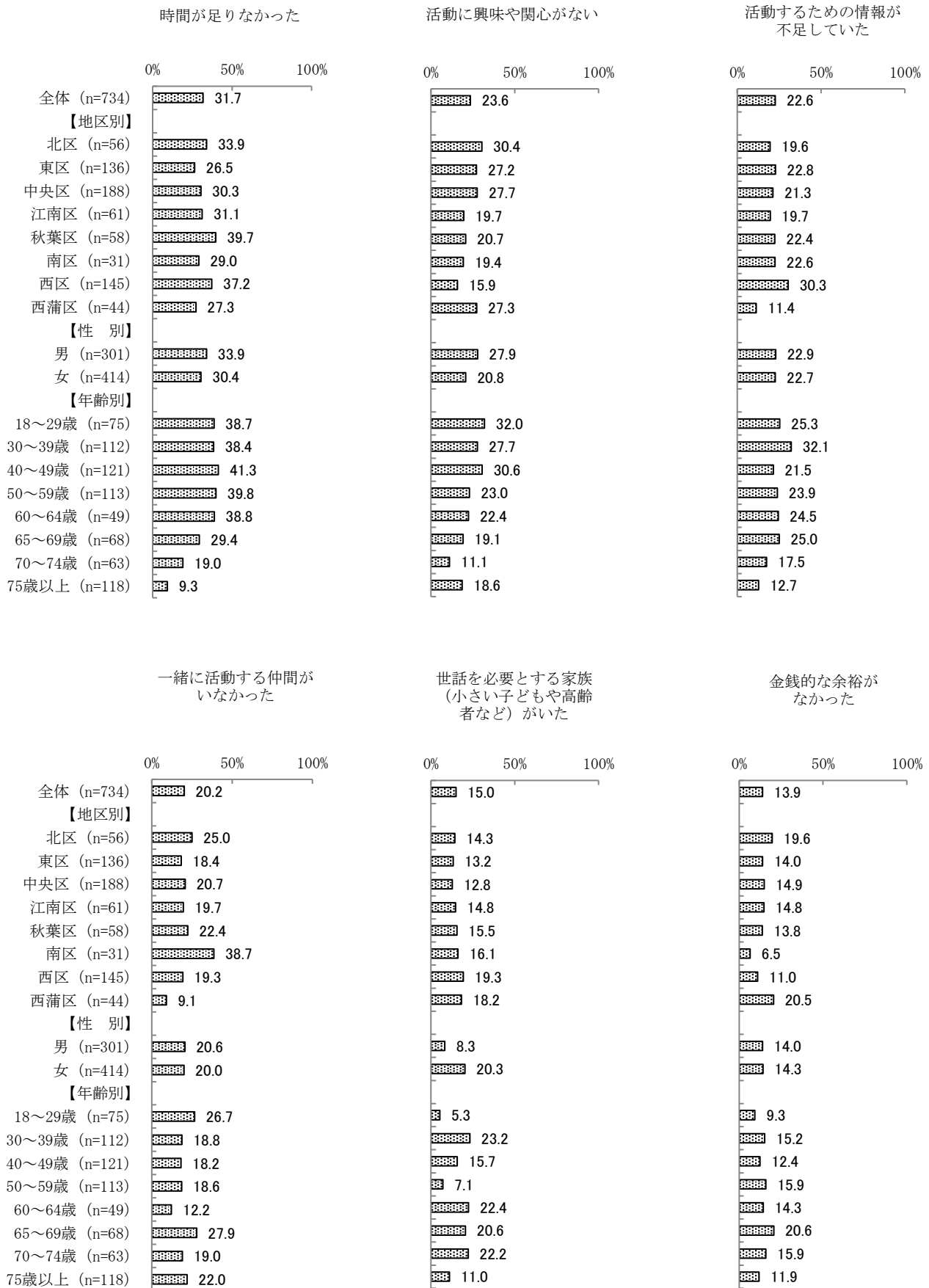


図 4-2 参加しなかった、できなかった理由（地区別/性別/年齢別） 2/3

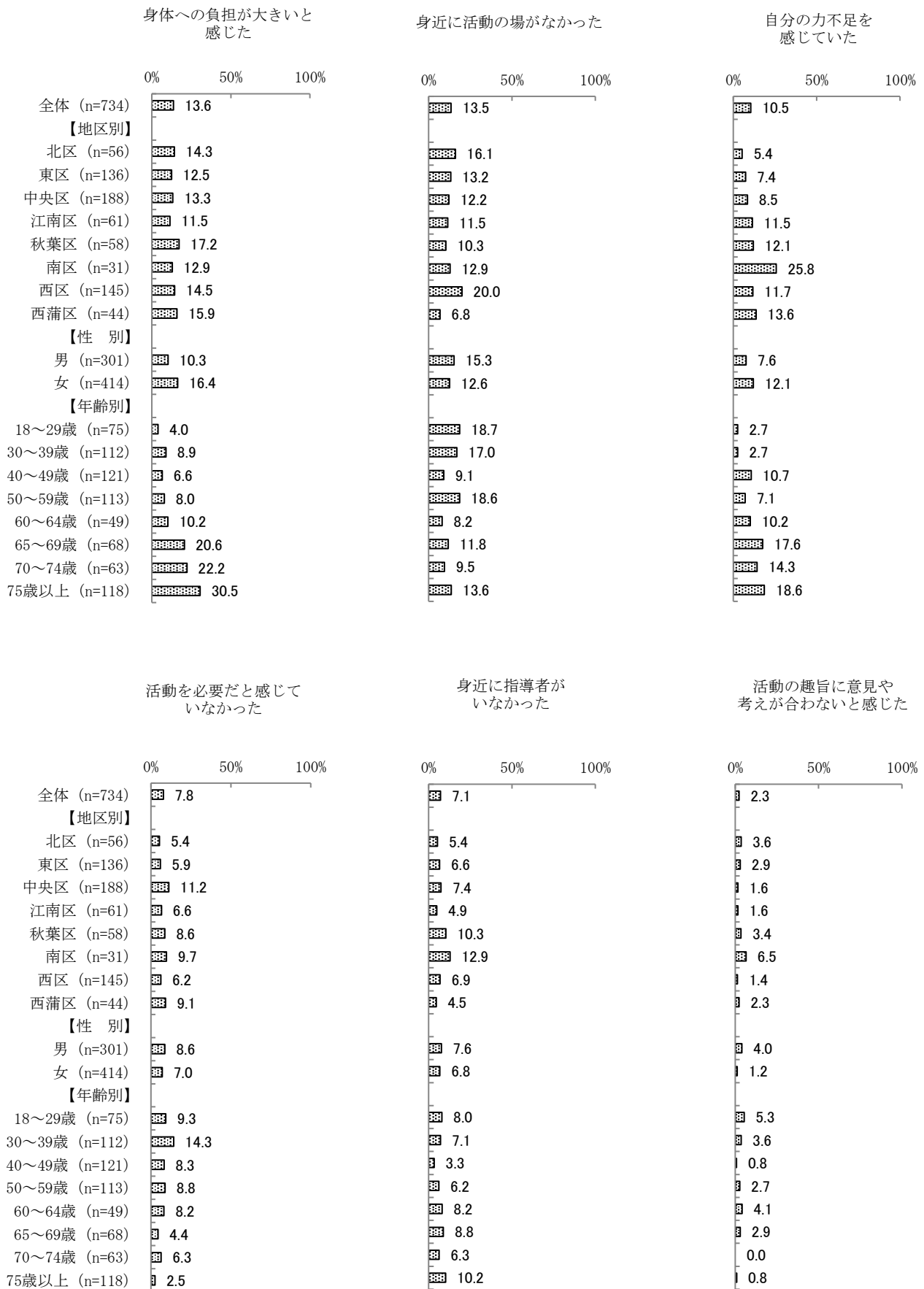
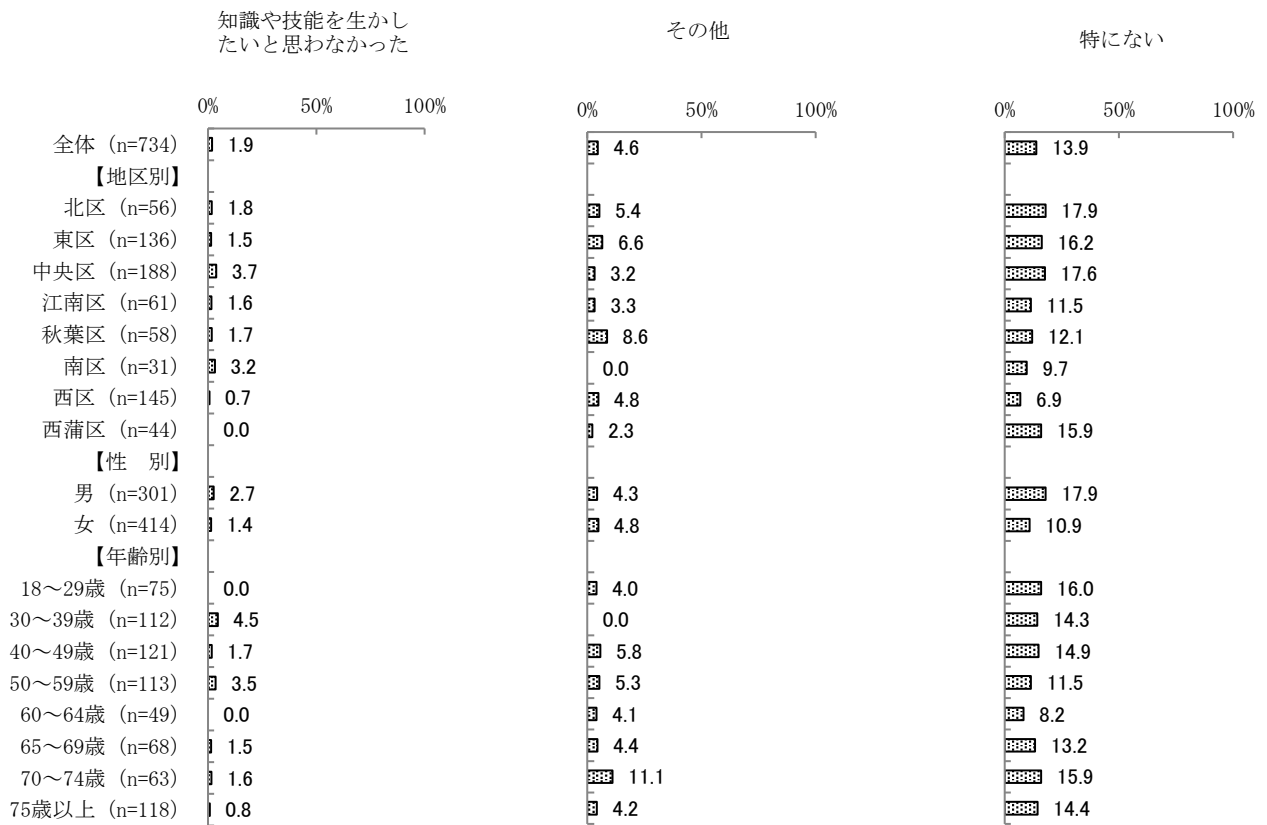
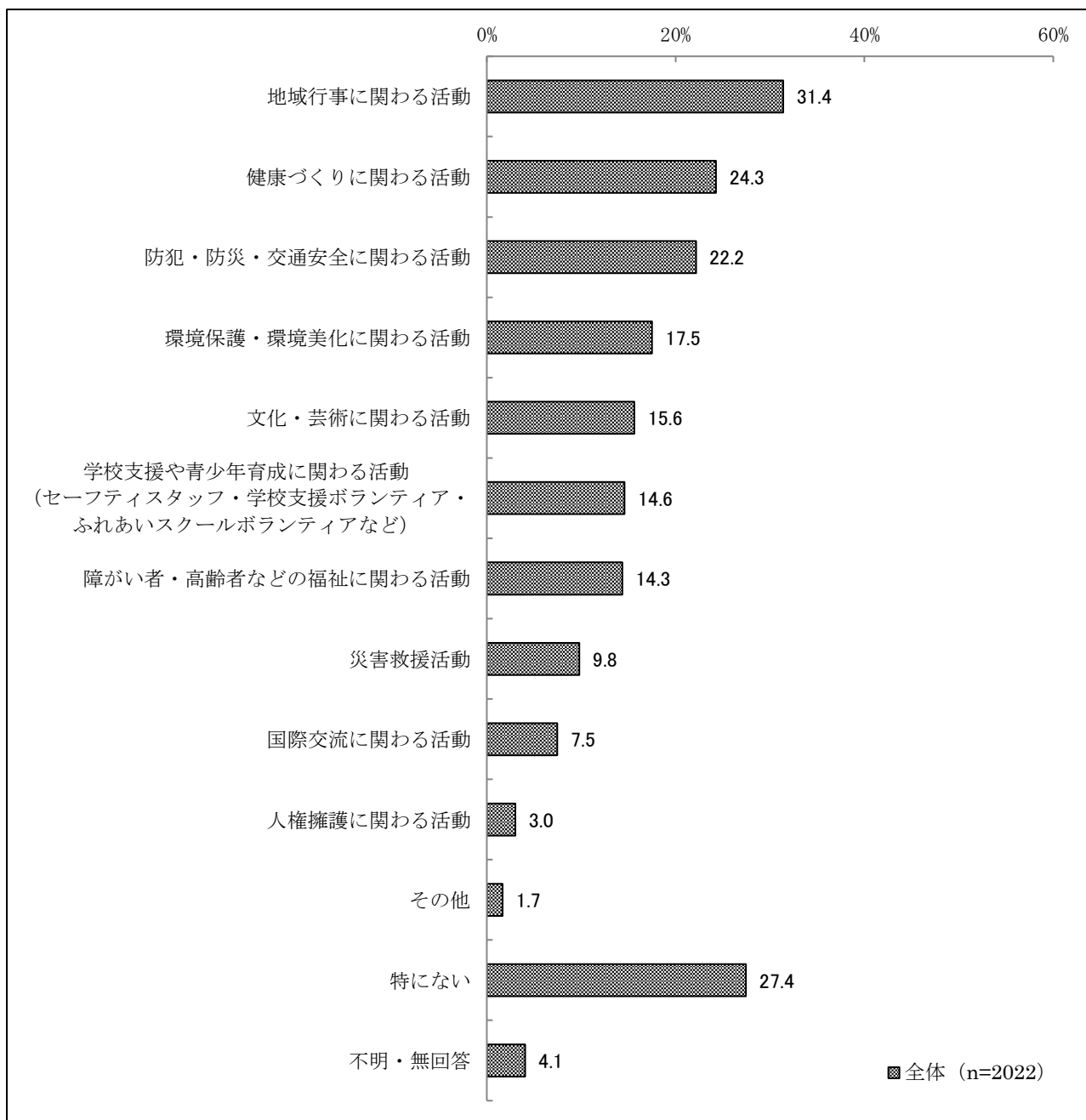


図 4-2 参加しなかった、できなかった理由（地区別/性別/年齢別） 3/3



(3) 今後、参加・継続したい社会活動

問16 あなたが今後、参加したい、または継続したい社会活動はありますか。
(〇はいくつでも)



— 「地域行事に関わる活動」が3割以上 —

【全体結果】

「地域行事に関わる活動」(31.4%)が3割を超え、割合が最も高い。次いで、「健康づくりに関わる活動」(24.3%)、「防犯・防災・交通安全に関わる活動」(22.2%)、「環境保護・環境美化に関わる活動」(17.5%)、「文化・芸術に関わる活動」(15.6%)の順に続く。

「特にない」(27.4%)は、3割弱となった。

【属性別結果】（図 4-3 参照）

① 地区別

「地域行事に関わる活動」は、中央区以外の区で割合が最も高い。特に南区（47.7%）、西蒲区（43.4%）で高く、4割を超えた。中央区では、「健康づくりに関わる活動」（25.5%）の割合が最も高い。

「特にない」は、江南区（33.3%）の割合が最も高い。

② 性別

「地域行事に関わる活動」（男性 36.1%、女性 27.9%）、「防犯・防災・交通安全に関わる活動」（男性 28.0%、女性 17.8%）、「環境保護・環境美化に関わる活動」（男性 21.5%、女性 14.7%）は、女性と比較して、男性で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

「地域行事に関わる活動」、「健康づくりに関わる活動」は、60～64歳（各 42.4%、30.3%）で割合が最も高い。「学校支援や青少年育成に関わる活動（セーフティスタッフ・学校支援ボランティア・ふれあいスクールボランティアなど）」は40～49歳（24.4%）で割合が最も高い。「特にない」は、75歳以上（37.6%）、30～39歳（31.3%）、18～29歳（30.6%）で高く、3割を超えた。

図 4-3 今後、参加・継続したい社会活動（地区別/性別/年齢別） 1/2

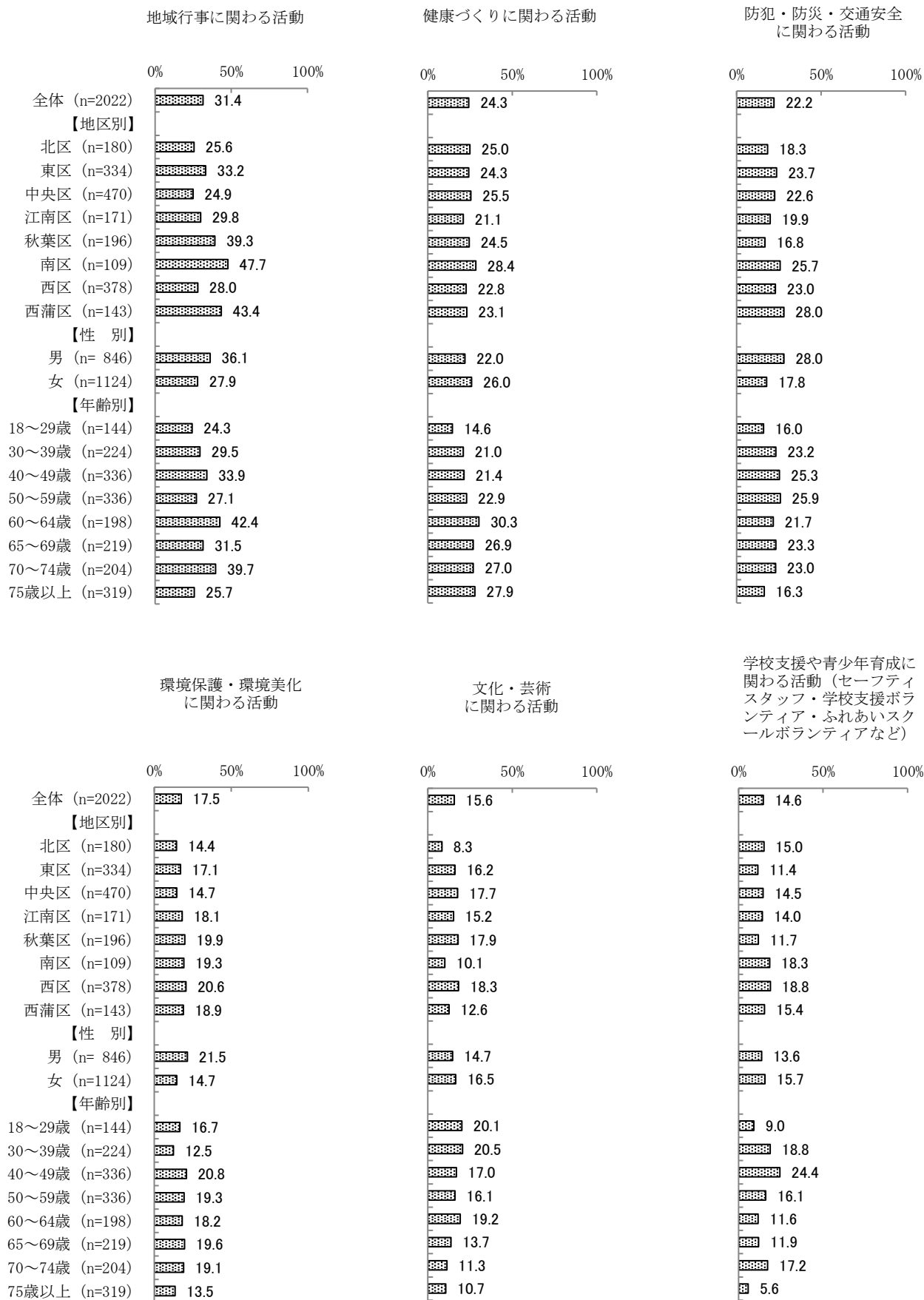
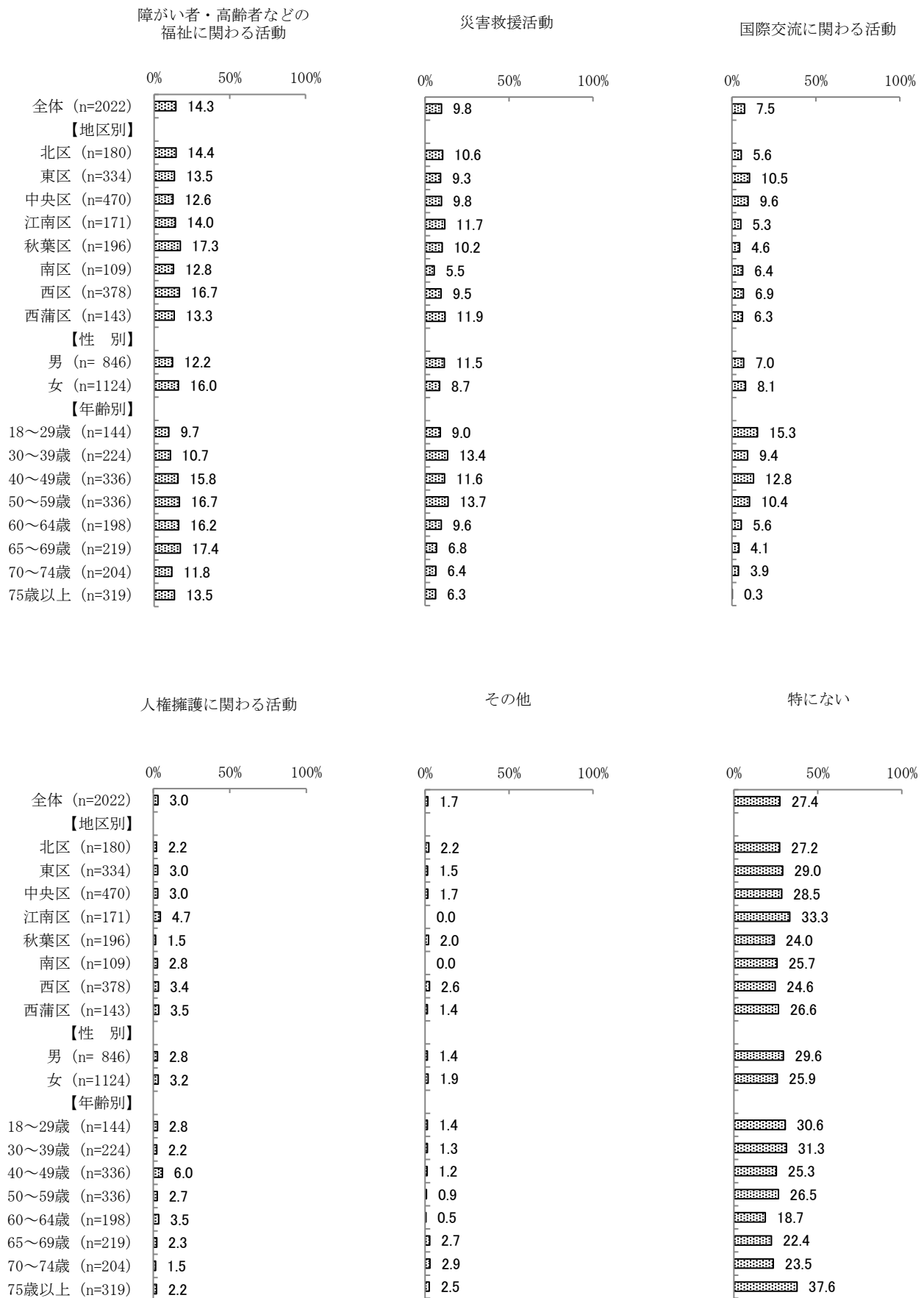


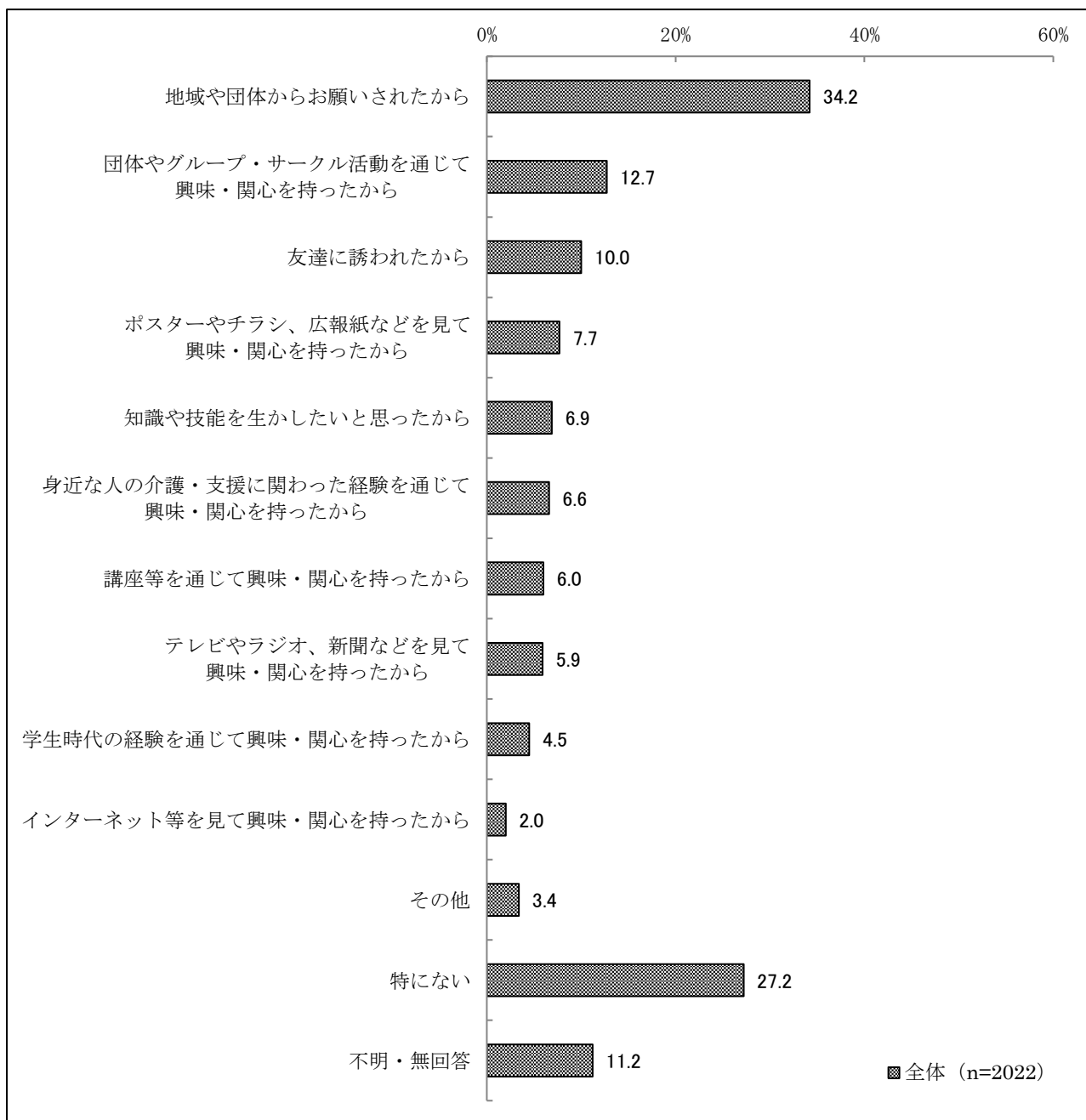
図 4-3 今後、参加・継続したい社会活動（地区別/性別/年齢別） 2/2



(4) 社会活動に参加したきっかけ

問17 あなたが、社会活動に参加したきっかけは何ですか。

(○はいくつでも)



— 「地域や団体からお願いされた」が3割以上 —

【全体結果】

「地域や団体からお願いされたから」(34.2%)が3割を超え、割合が最も高い。次に続く「団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから」(12.7%)の3倍近くの割合で、突出している。「友達に誘われたから」(10.0%)が1割。他のきっかけは、1割に満たなかった。

「特にない」(27.2%)は、3割弱となった。

【属性別結果】（図 4-4 参照）

① 地区別

「地域や団体からお願いされたから」は、すべての区で割合が最も高い。区別では南区（46.8%）で最も高い。「団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから」、「友達に誘われたから」は、西蒲区（各 17.5%、16.1%）で最も高い。

「特にない」は、東区（30.2%）で割合が最も高い。

② 性別

「地域や団体からお願いされたから」は、女性（30.1%）と比較して、男性（40.4%）で割合が高く差がみられた。

「特にない」も、女性（25.2%）と比較して、男性（30.3%）で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

「地域や団体からお願いされたから」は、60～64 歳（47.0%）、50～59 歳（42.3%）で割合が高い。

「団体やグループ・サークル活動を通じて興味・関心を持ったから」は、75 歳以上（18.8%）、70～74 歳（18.6%）で割合が高い。年齢が高いほど割合が高くなる傾向がみられる。

「特にない」は、18～29 歳（44.4%）、30～39 歳（40.6%）で高く、4 割を超えた。

図 4-4 社会活動に参加したきっかけ（地区別/性別/年齢別） 1/2

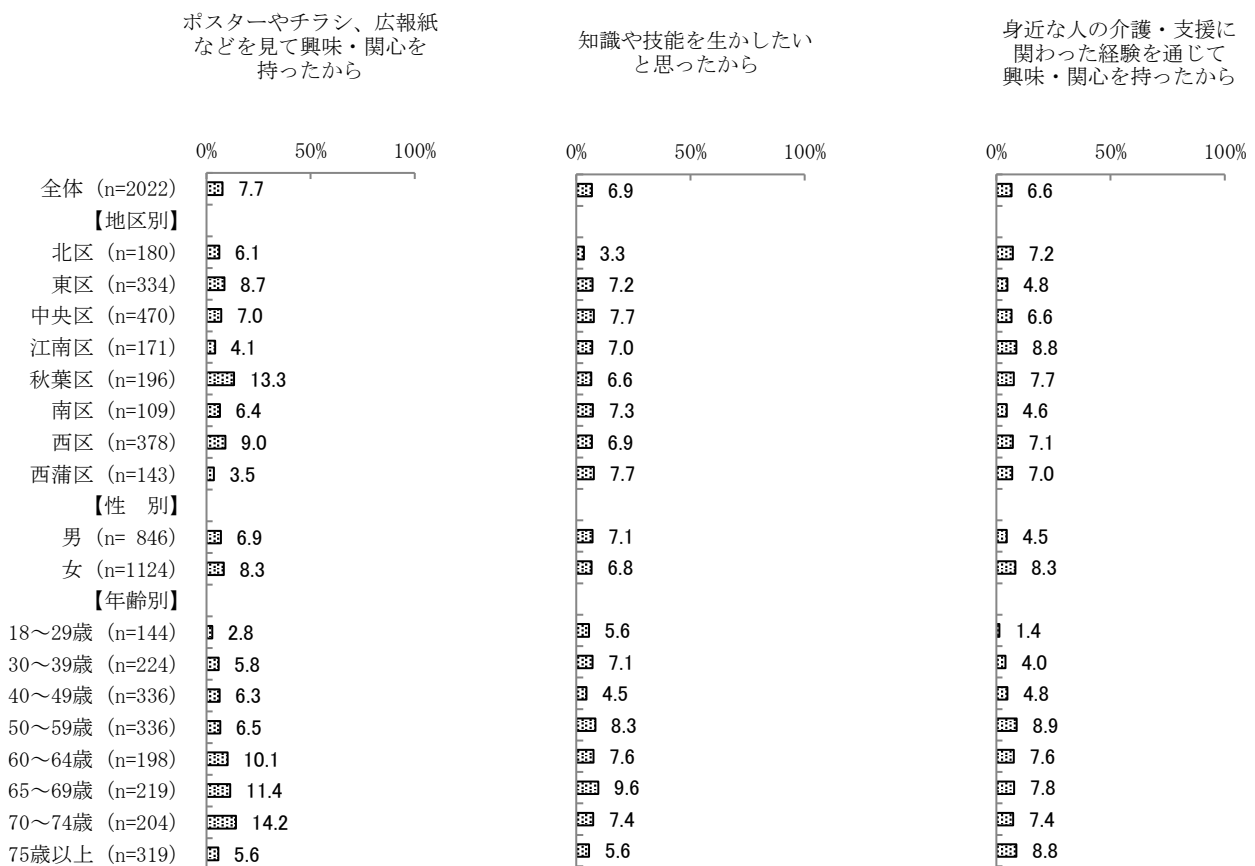
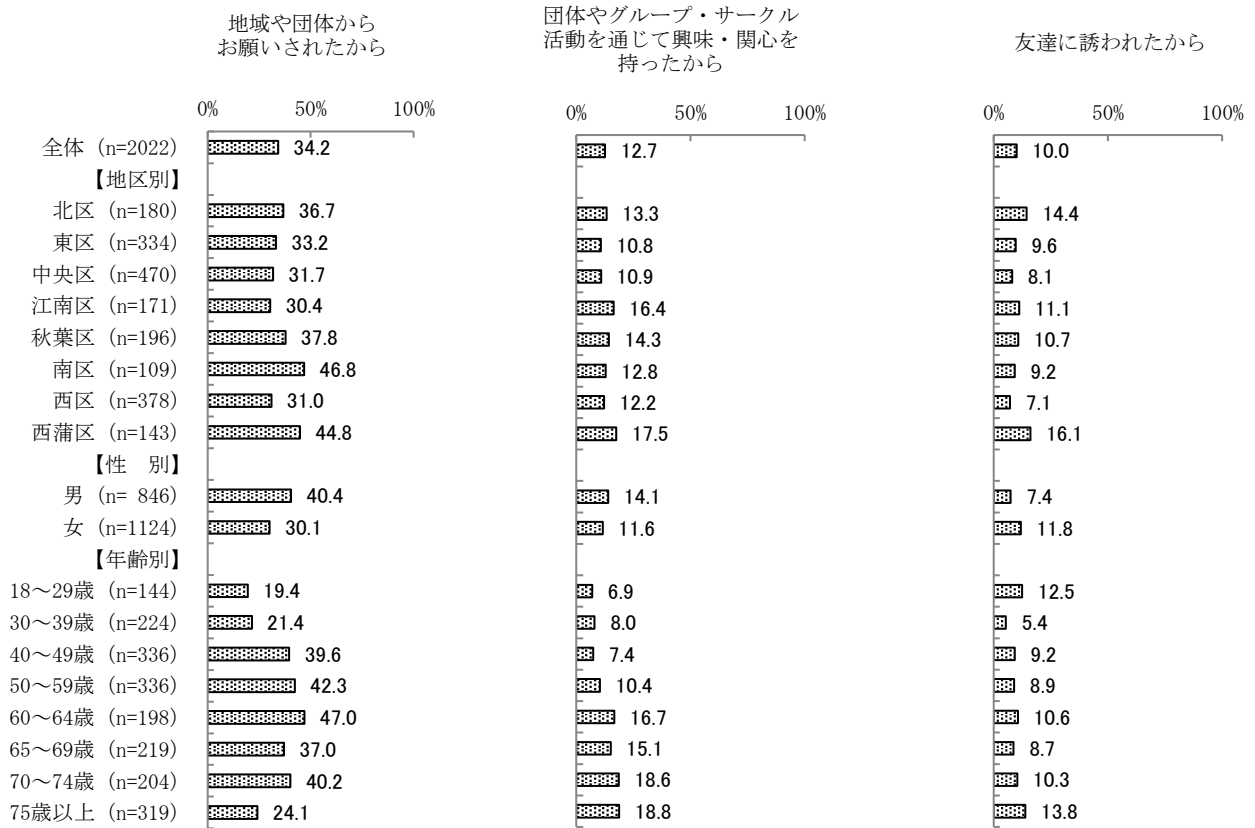
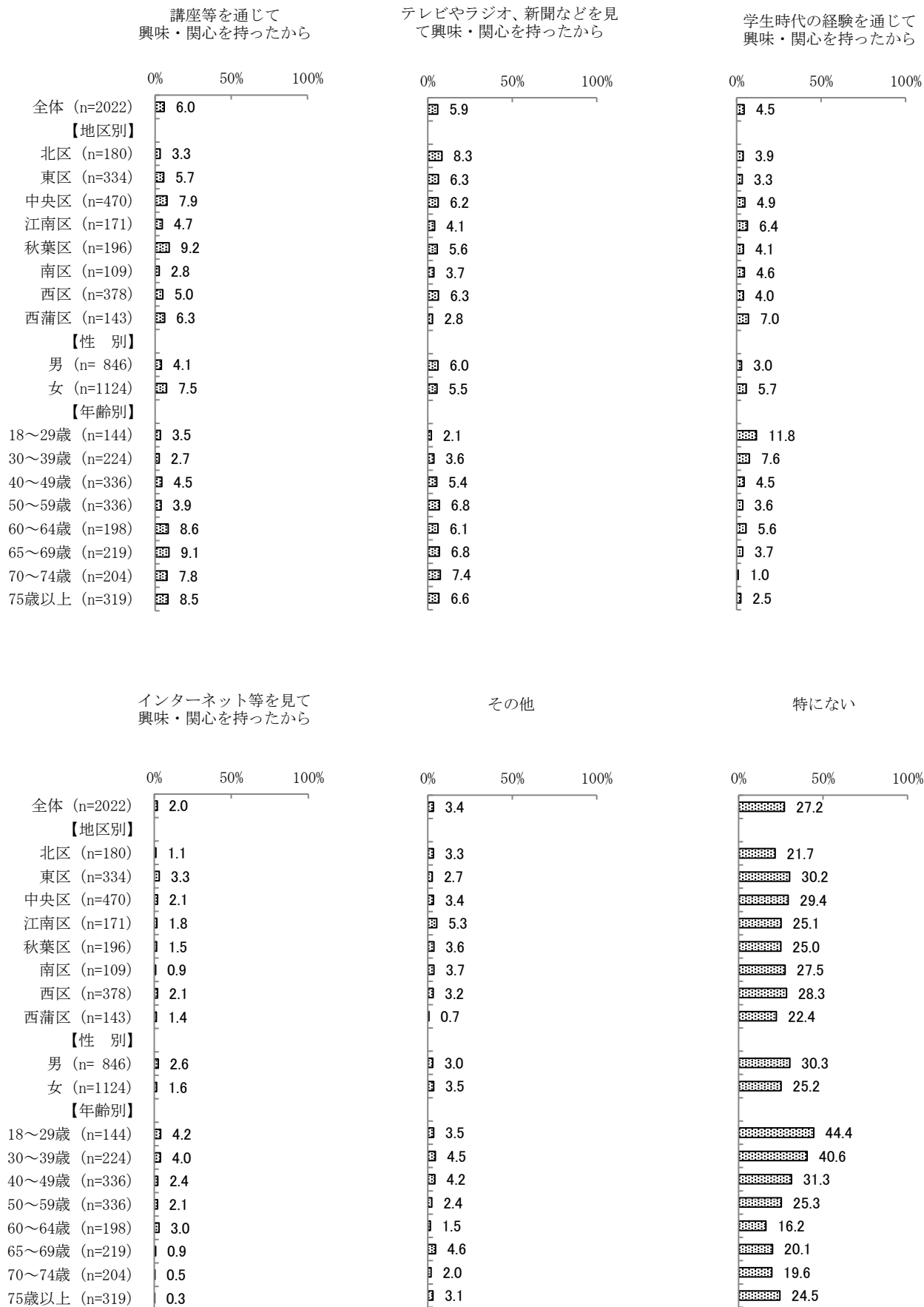


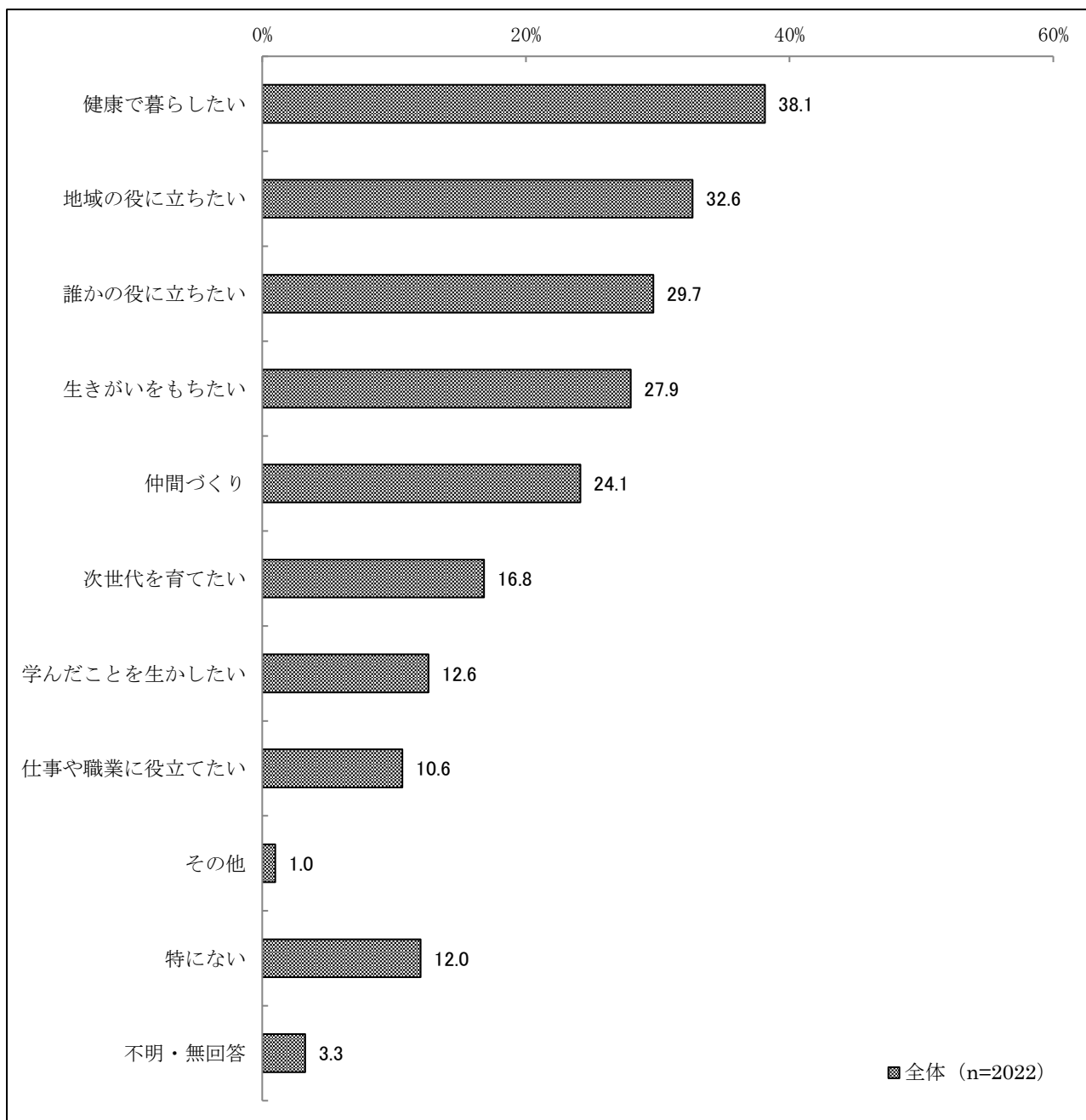
図 4-4 社会活動に参加したきっかけ（地区別/性別/年齢別） 2/2



(5) 社会活動に期待したいこと

問18 あなたが、社会活動に期待したいことは何ですか。

(○はいくつでも)



— 「健康で暮らしたい」「地域の役に立ちたい」が3割以上 —

【全体結果】

「健康で暮らしたい」(38.1%)の割合が、最も高い。次いで「地域の役に立ちたい」(32.6%)、「誰かの役に立ちたい」(29.7%)、「生きがいをもちたい」(27.9%)、「仲間づくり」(24.1%)、「次世代を育てたい」(16.8%)の順に続く。

【属性別結果】（図 4-5 参照）

① 地区別

「地域の役に立ちたい」は、秋葉区（41.3%）と南区（40.4%）で高く、秋葉区と南区では、「健康で暮らしたい」よりも高い。他の区では「健康で暮らしたい」が最も高い。

中央区では、「誰かの役に立ちたい」（34.5%）が、他の区と比べて高く、「地域の役に立ちたい」（30.9%）よりも割合が高い。中央区では、「仲間づくり」（18.7%）が、他の区と比べて低い。

② 性別

「健康で暮らしたい」（男性 31.2%、女性 42.6%）、「誰かの役に立ちたい」（男性 25.1%、女性 33.4%）は、男性と比較して女性で割合が高く、「地域の役に立ちたい」（男性 41.7%、女性 26.0%）、「次世代を育てたい」（男性 20.2%、女性 14.3%）は、女性と比較して男性で割合が高く、差がみられた。

③ 年齢別

「健康で暮らしたい」「生きがいを持ちたい」は、年齢が高いほど割合も高くなる。「健康で暮らしたい」は、若年層と高齢層の差が特に大きい。逆に「誰かの役に立ちたい」「仕事や職業に役立てたい」は、年齢が低いほど、割合が高くなる。

図 4-5 社会活動に期待したいこと（地区別/性別/年齢別） 1/2

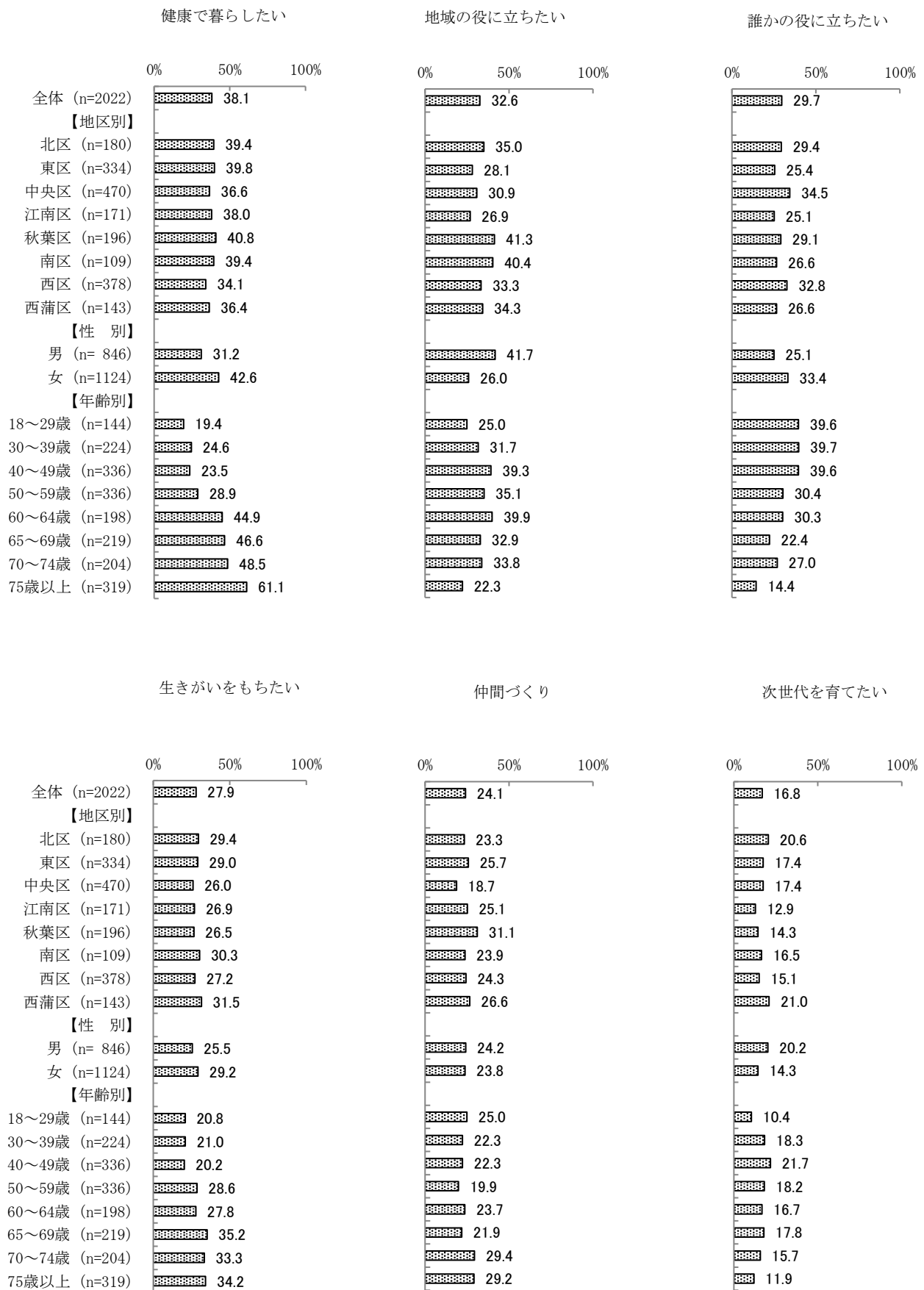
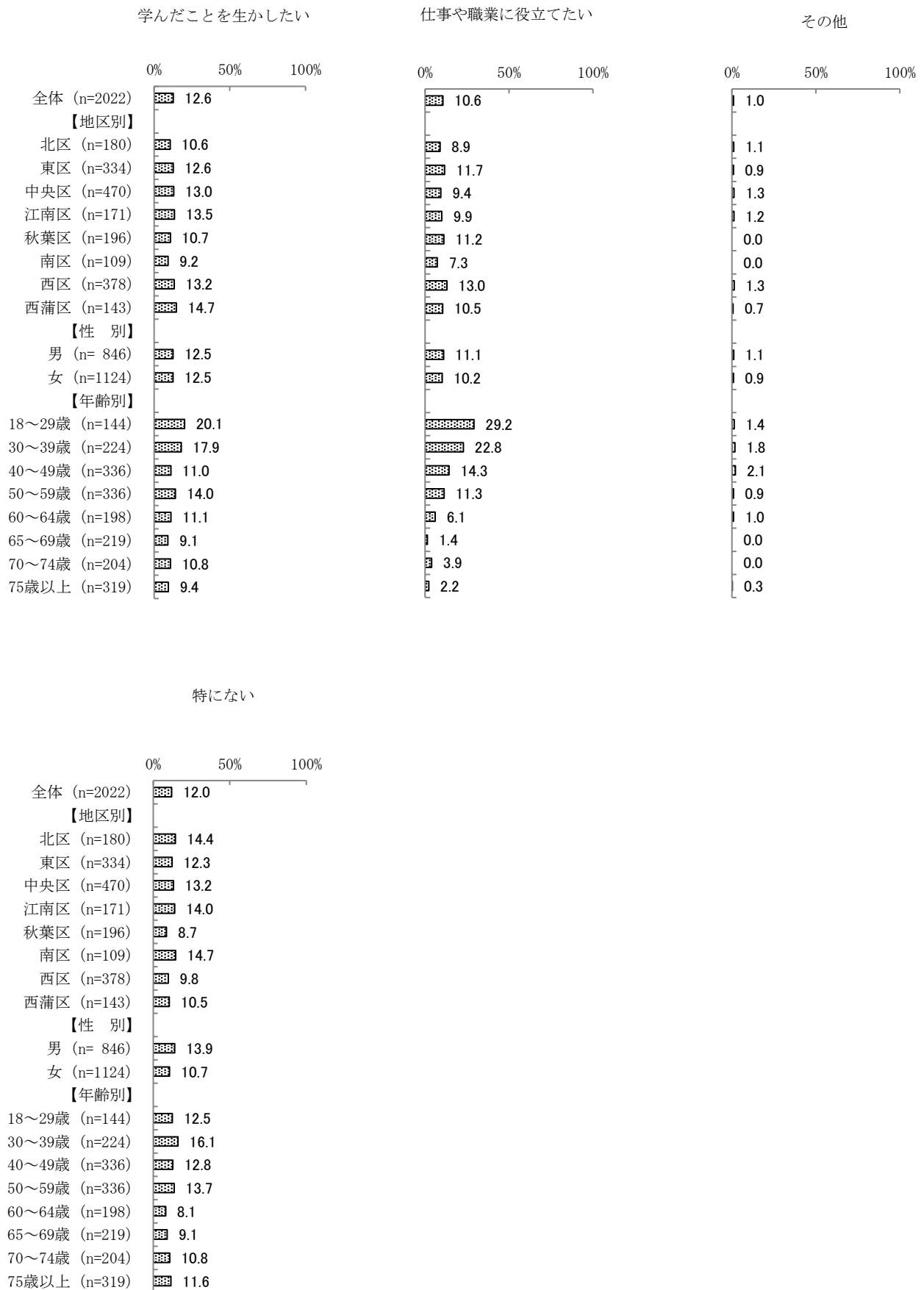


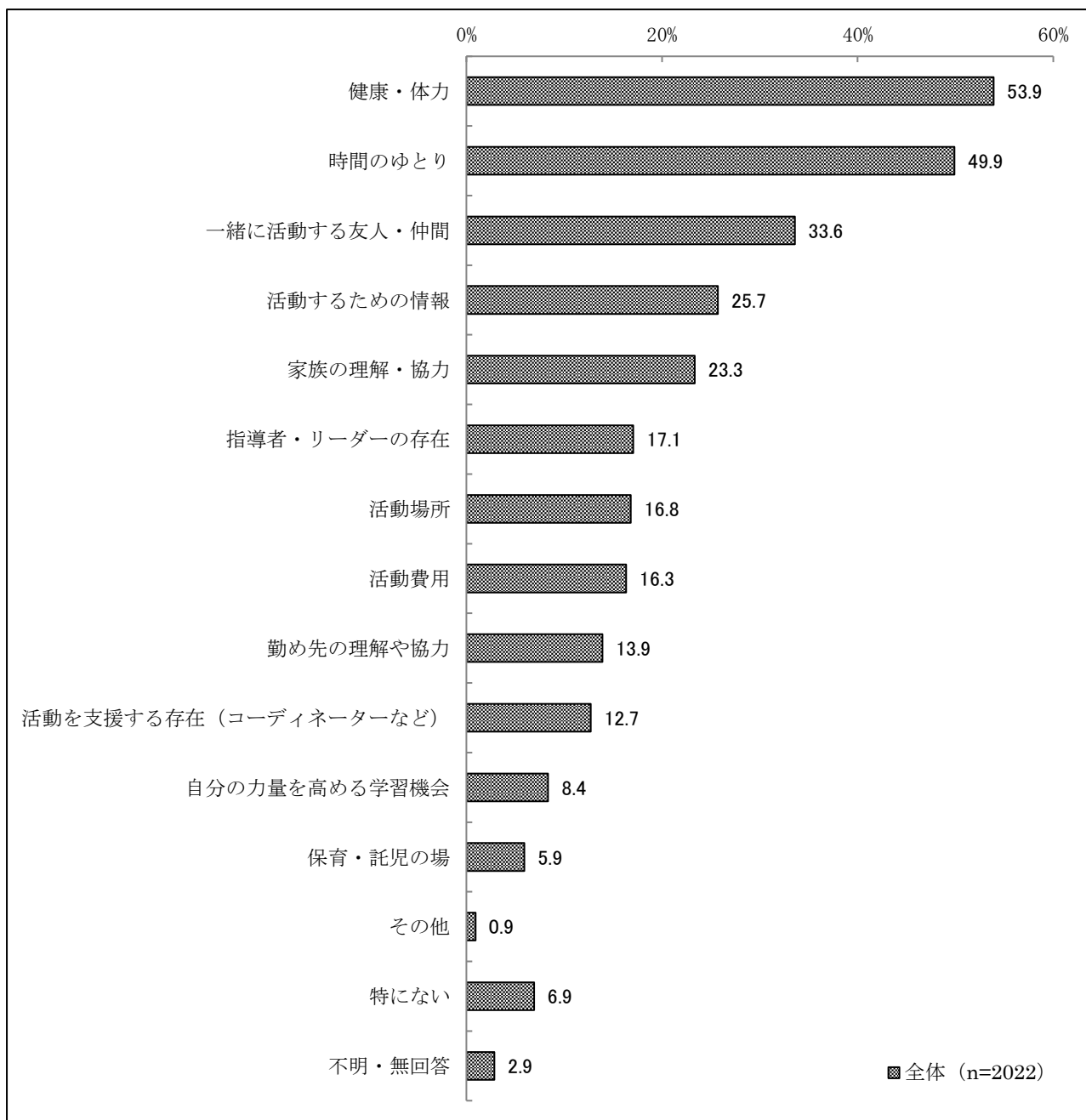
図 4-5 社会活動に期待したいこと（地区別/性別/年齢別） 2/2



(6) 社会活動に参加するうえで、大切な条件

問19 あなたが社会活動に参加するうえで、大切だと思う条件は何ですか。

(〇はいくつでも)



— 「健康と体力」「時間のゆとり」が約5割 —

【全体結果】

「健康・体力」(53.9%)が5割を超え、割合が最も高い。次いで「時間のゆとり」(49.9%)、「一緒に活動する友人・仲間」(33.6%)、「活動するための情報」(25.7%)、「家族の理解・協力」(23.3%)、「指導者・リーダーの存在」(17.1%)、「活動場所」(16.8%)、「活動費用」(16.3%)の順に続く。

【属性別結果】（図 4-6 参照）

① 地区別

中央区と南区では、「時間のゆとり」（中央区 51.5%、南区 52.3%）の割合が最も高い。西区では、「時間のゆとり」と「健康・体力」（いずれも 53.2%）が同じ割合となった。他の区では、「健康・体力」の割合が最も高い。

順位に違いはあるが、どの区も、「健康・体力」「時間のゆとり」が上位 2 位、「一緒に活動する友人・仲間」が 3 位となっている。

② 性別

「健康・体力」（男性 49.9%、女性 56.6%）、「家族の理解・協力」（男性 20.4%、女性 25.7%）は、男性と比較して、女性で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

「健康・体力」は、70～74 歳（71.6%）で割合が最も高い。年齢が高いほど、割合が高くなる傾向が見られる。

「時間のゆとり」は、40～49 歳（64.9%）で割合が最も高い。65 歳以上で他の年代と比較して割合が低くなる。

「保育・託児の場」は、30～39 歳で（23.7%）で最も高く、18～29 歳（13.9%）、40～49 歳（10.7%）でも高く、1 割を超えた。

図 4-6 社会活動に参加するうえで、大切な条件 1/3

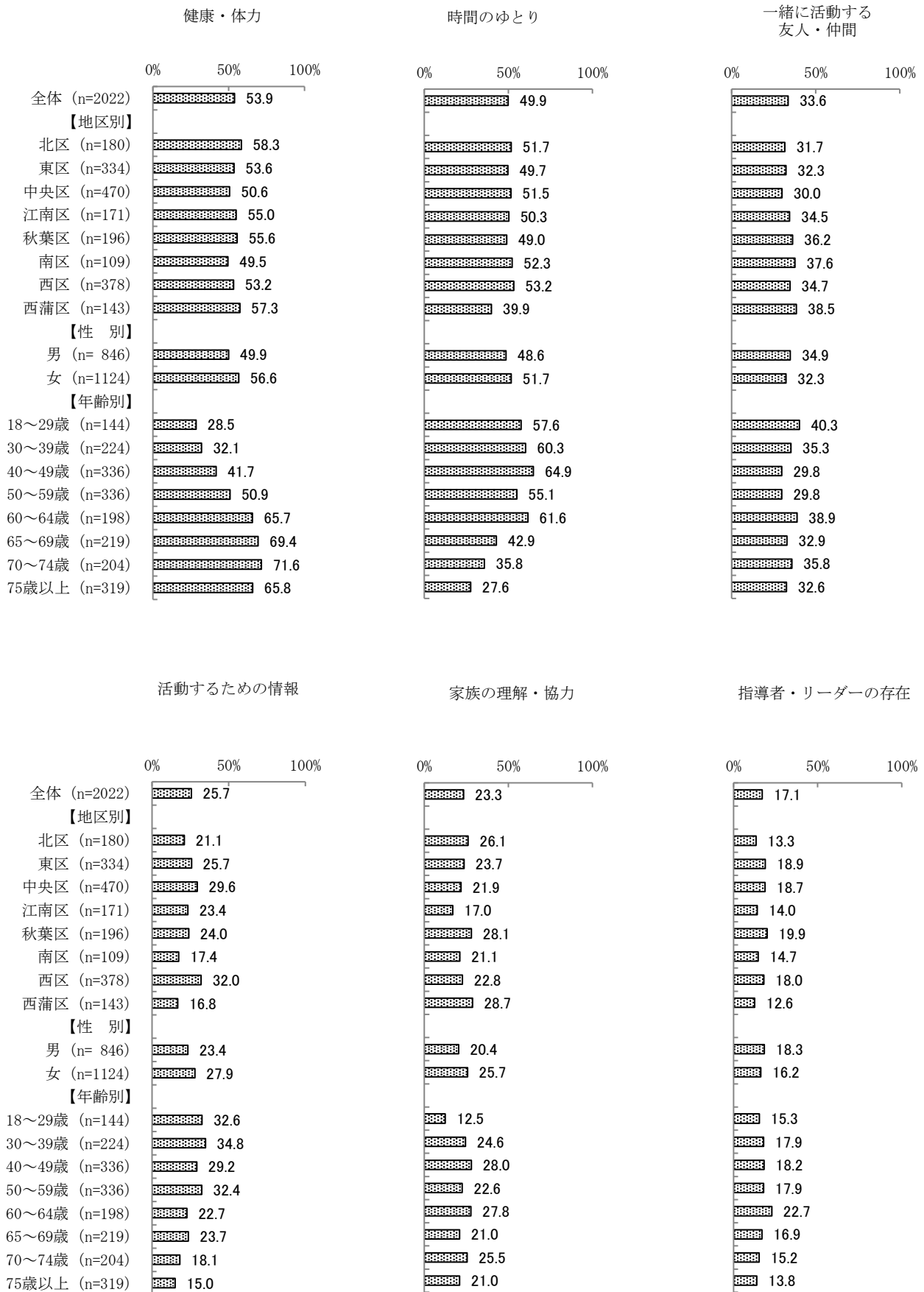


図 4-6 社会活動に参加するうえで、大切な条件 2/3

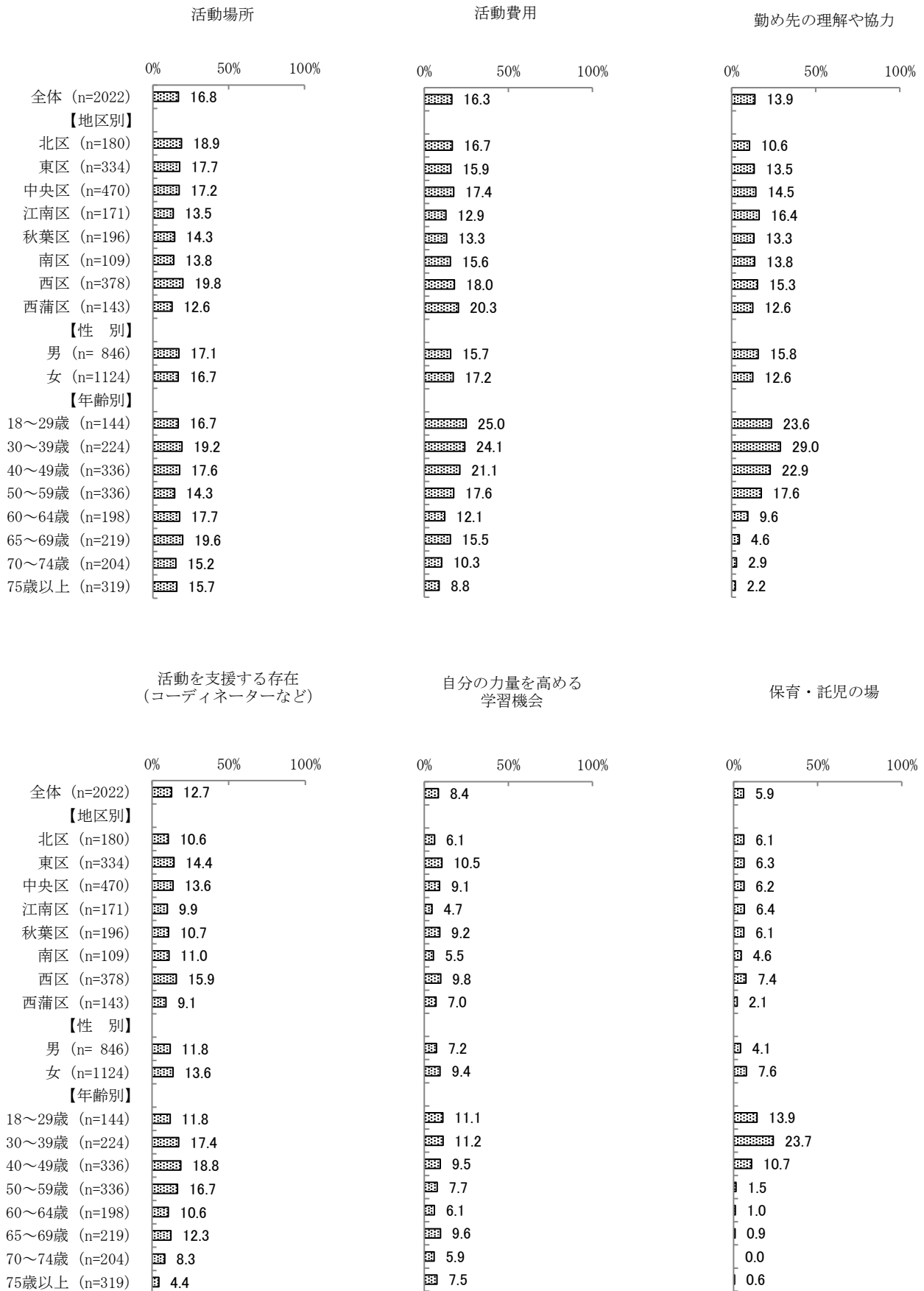
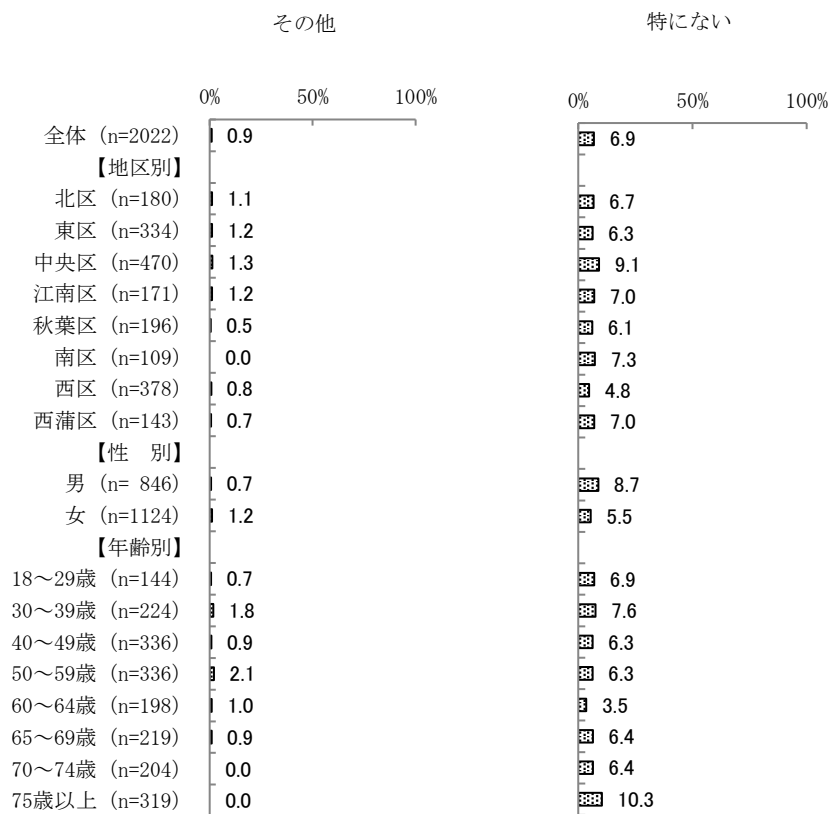
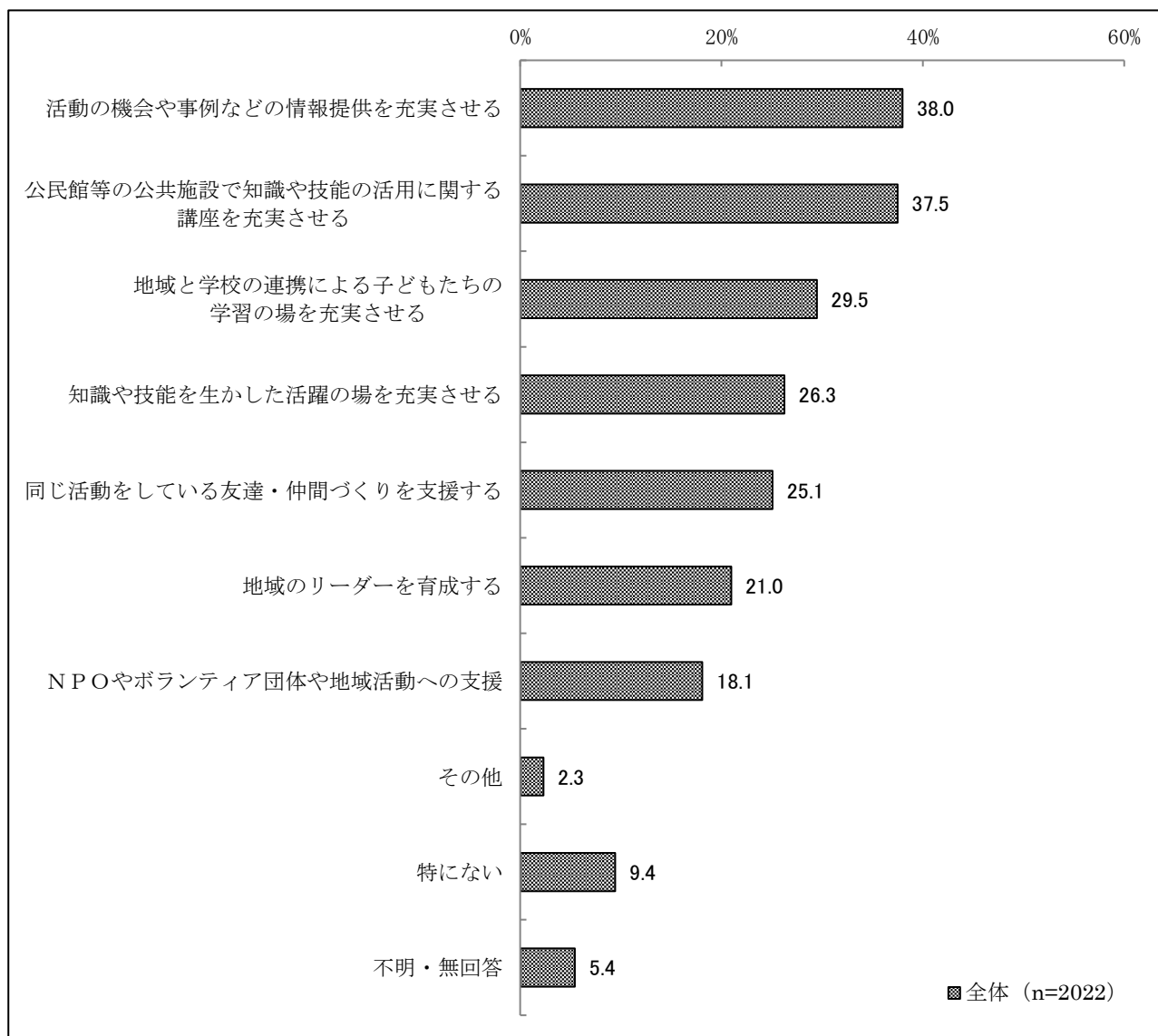


図 4-6 社会活動に参加するうえで、大切な条件 3/3



(7) 地域コミュニティ活性化を担う人材育成のために力を入れるべきこと

問20 市は、市民一人ひとりが学習成果を生かす循環型生涯学習を推進しています。誰もが生涯を通じて学び育つことができ、学びの成果を生かした地域づくりを通じて、地域コミュニティの活性化を担う人材を育成したいと考えています。次代を担う人材を育てるために、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)



— 「活動機会や事例の情報提供の充実」および、「知識や技能の活用に関する講座の充実」が約4割 —

【全体結果】

「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」(38.0%)、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる」(37.5%)が4割近くとなり、割合が高い。次いで「地域と学校の連携による子どもたちの学習の場を充実させる」(29.5%)、「知識や技能を生かした活躍の場を充実させる」(26.3%)、「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」(25.1%)、「地域のリーダーを育成する」(21.0%)、「NPOやボランティア団体や地域活動への支援」(18.1%)の順に続く。

【属性別結果】（図 4-7 参照）

① 地区別

「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」は、西区（42.9%）、中央区（39.1%）で割合がやや高い。「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる」は、秋葉区（40.3%）、西区（40.2%）でやや高い。「地域と学校の連携による子どもたちの学習の場を充実させる」は、南区（31.2%）、西区（31.0%）でやや高い。「知識や技能を生かした活躍の場を充実させる」は東区（32.3%）で高い。

② 性別

「同じ活動をしている友達・仲間づくりを支援する」（男性 28.0%、女性 22.7%）、「地域のリーダーを育成する」（男性 24.5%、女性 17.9%）は、女性と比較して男性で、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる」は男性（31.7%）と比較して女性（42.3%）で割合が高く差がみられた。

③ 年齢別

18～29 歳（40.3%）、40～49 歳（41.4%）、50～59 歳（42.3%）では、「活動の機会や事例などの情報提供を充実させる」の割合が最も高い。

30～39 歳（47.3%）では、「地域と学校の連携による子どもたちの学習の場を充実させる」の割合が最も高い。

60 歳以上（60～64 歳 41.9%、65～69 歳 47.5%、70～74 歳 42.2%、75 歳以上 34.8%）では、「公民館等の公共施設で知識や技能の活用に関する講座を充実させる」の割合が最も高い。

図 4-7 地域コミュニティ活性化を担う人材育成のために力を入れるべきこと
(地区別/性別/年齢別) 1/2

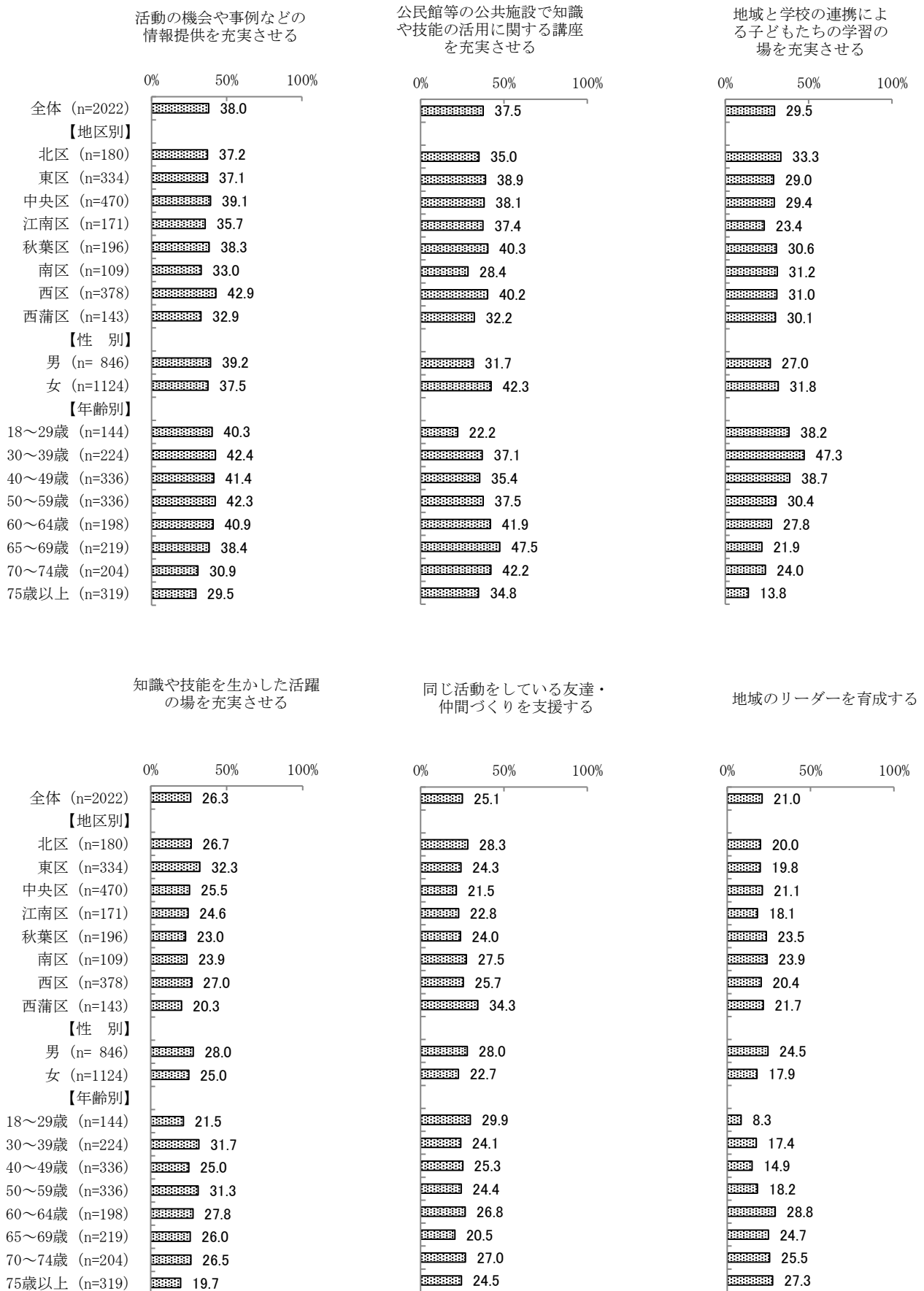


図 4-7 地域コミュニティ活性化を担う人材育成のために力を入れるべきこと
(地区別/性別/年齢別) 2/2

